


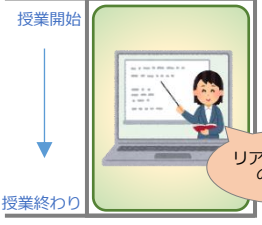
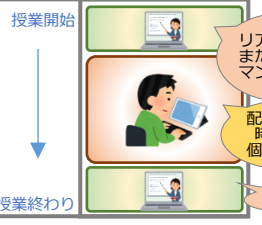



心のつながりを目指して



東京都教育庁指導部指導企画課

あなたはどのオンライン学習のタイプを選びますか？

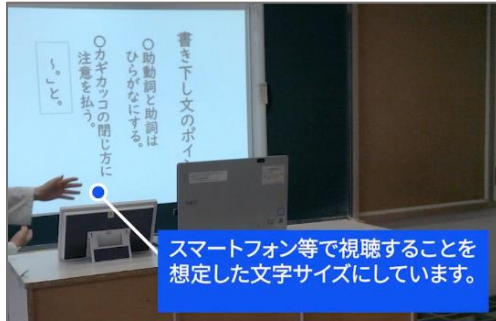
	①黒板をカメラで撮影 	②Office アプリ・デジタルノート・書画カメラ等を黒板代わりに使用 	③事前に用意したスライド等を提示
1 同時双方向型の学習  <p>リアルタイムの説明</p>	○通常の授業と同じように指導できる。 ▲子供の端末で文字を読み取ることができるよう 板書(文字の大きさや色)を工夫することが必要 ▲回線負荷が高い。	○カメラの調整が不要 ○子供からはっきり見える。 ○回線負荷が低い。 ▲教師の慣れが必要	○子供からはっきり見える。 ○回線負荷が低い。 ▲事前にスライド等を用意する準備が必要 ▲スライドだけだと単調になりやすく、子供が飽きやすい。
2 動画視聴及び課題  <p>リアルタイムまたはオンデマンドの説明 配信しない時間帯・個別課題等 振り返り</p>	○(オンデマンド動画の場合) 子供が何度も見直すことができる。 ○「1 同時双方向型の学習」の①～③の利点○と同じ ▲子供が確実に理解できているか、フォーム機能等による小テストの実施により 学習の成果を確認 することが必要 ▲学習進度の差に対し、チャットによる質問の受付など 個別の支援 が必要 ▲一人で学習することに 不安を抱かないよう支援 することが必要(メルマガ4号参照) ▲「1 同時双方向型の学習」の①～③のデメリット▲と同じ		

子供たちの学びを止めないために、まずはチャレンジ。失敗を恐れずに。自分の授業デザインやオンライン環境に合ったやり方を検討しましょう。

■ 教師向け動画「すぐに開始できるオンライン教育」(令和2年5月公開) から ・実践編3「オリジナル学習動画を作ろう」 <https://youtu.be/kHFJpRylnic>

黒板をカメラで撮影して配信する際の様々な工夫を紹介しています。

- タイマーを設置し時間を管理する。
- 画面に映る範囲をマグネット等で分かるようにする。
- 撮影(配信)前に板書を行い、時間を短縮する。
- スマートフォン等での視聴を想定した文字サイズにする。



■ 黒板の代わりに利用できるツール・ソフトウェアの例

- 書画カメラ …………… 手軽に提示でき、色の再現性も高いツール(実際に配信できるか事前の確認が必要)
- ホワイトボードアプリ※1 .. 複数人で同時に書き込む場面で有効
- デジタルノート・メモアプリ※2 .. 多機能で情報管理も便利

※1 Jamboard (Google)、Whiteboard (Microsoft) 等
 ※2 Keep (Google)、OneNote (Microsoft) 等



■ 事例を募集しています！ 「心のつながりプロジェクトオンライン」

オンライン行事・オンライン学習でも「参加している実感」を感じさせる取組や工夫、ぜひ教えてください！

感染症対策で身体的距離を保たなければならない中「オンラインでも心のつながり」を深める工夫をしていますか？

お伝えいただいた取組や工夫は、東京都教育委員会のホームページ等で紹介します。

応募資格：都内公立学校及び区市町村教育委員会
 応募期間：令和3年9月1日(水)から令和4年1月31日(月)まで
 応募方法：別紙様式に記入の上、メールで送付
 ※送付先：東京都教育庁指導部指導企画課
 「心のつながりプロジェクトオンライン」担当
 S900020@section.metro.tokyo.jp

令和3年8月 東京都教育庁指導部

詳しくは通知を御覧願います。
 令和3年8月25日付3教指企第861号